

INTERVIEW

今後地域の中心となる経営体の方々に
越生町の農業についてお話を聞きました。

- ①越生町の現在の農業状況をどう思いますか？
- ②現在の農業で問題視していることはありますか？
- ③越生町の農業(農地・農業者)は今後どうなっていくと思いますか？
- ④今後どういう事をしていきたいですか？
- ⑤後継者はいますか？
- ⑥農業をされていて嬉しかった経験談はありますか？



池田吉男さん(成瀬)
経営内容 水稲・露地野菜

- ① 定年退職から農業を始めた方が多く、高齢者が多いと思います。また、所有している農地が少ない方は、設備や農業機械へ十分な投資ができない方も多いんじゃないでしょうか。農業をやりたい人でもノウハウ不足でできない人もいます。
- ② 耕作放棄地や後継者不足ですね。耕作放棄地は獣の住処で、獣害増加の要因の一つでもあります。農地維持も大変です。
- ③ 獣害が増え、農業を諦める方が増え、さらに耕作放棄地が増えて。獣害・耕作放棄地が増加していくと思います。
- ④ 農業の魅力をたくさんの人に伝えていきたいです。また、特産品である梅・ゆず以外の時期で、旬の新たな特産品を作って、越生町に来てくれる方を増やしたいです。
- ⑤ まだいいです。農業をやりたい人にはできる限り協力したいと考えています。
- ⑥ 農業を始めたころですかね。初めて自分が作った農作物が売れた時が一番嬉しかったですね。



加藤牧場(代)加藤忠司さん
(日高市)
経営内容 飼料用作物

- ① 農業を兼業している方が多く見られ、耕作放棄地が多いと感じます。所有している農地が少ない方は、農業だけでは生活できない状況です。
- ② 耕作放棄地や高齢者が多いこと、農業を始めたとしても区画整理や圃場整備をしないと難しいことですね。補助金等で農業を始めた人をサポートしたり、余力がある人達に農地を集める仕組みができれば耕作放棄地対策になると思います。
- ③ 現在農業をしている方は高齢者が多いため、その方たちが辞めてしまったら耕作放棄地が増えていくでしょうね。
- ④ 町内で酪農から販売までしたいです。そして多くの人に牛を見に訪れてもらい、町にも貢献できると嬉しいです。
- ⑤ 甥や娘夫婦、妹たちが協力し合って継いでくれます。
- ⑥ 所沢で店を出し、日高で牧場を始めたときに、自分の努力や覚悟を見て家族が応援・協力してくれた時です。家族の存在が一番大きいですね。



木村久夫さん（如意）
経営内容 水稲

- ① 70歳くらいの高齢者が多いと思います。町内には山が多く、農業をするのに危険な場所も多いと思います。
- ② 整備が必要な耕作放棄地等が多く、機械を購入しないと農業が追い付かないことです。費用面を考えると、農機具や農業機械を整備・維持するのは大変です。
- ③ 後継者不足で農業をやる人が少なくなり、耕作放棄地が増えていくと思いますね。
- ④ 現在、農業に取り組んでいる方の経験・ノウハウと若い人たちのパワーを合わせ、耕作放棄地を減らし、たくさんの農業後継者を見つきたいですね。越生町の梅、ゆず、田んぼ、畑、林業は、どれも発展の可能性を秘めていると思います。
- ⑤ いません。町外からでも農業をやりたい方、新規就農者が来たら受け入れたいです。
- ⑥ 草刈りや田植え中に、声をかけてもらえると頑張ろうと思えます。面識が無い方でも、挨拶や応援してもらえるのは嬉しいものです。



小林俊夫さん（小杉）
経営内容 果樹（梅）

- ① 今年の梅は実の成りが悪く、古木にはそろそろ改植が必要なのかなと思います。
- ② 東京都や埼玉県の梅干し消費量は、町内の梅干しの生産量よりも高いです。越生産の梅の需要を高めるために販売方法を工夫する余地があると思います。
- ③ 後継者不足で耕作放棄地が増え、獣等も増えていくのではないかと思います。
- ④ 特産品である梅やゆずの成分等の研究結果や、町の魅力を多くの人に伝えたいです。越生町の土壌・気候は、品質の良い梅を作るのに適しているということをPRしたいです。また、生産・加工・販売を役割分担して、それぞれに力を入れたいです。
- ⑤ まだ考えていません。それこそ6次産業化ができれば嬉しいですね。
- ⑥ 42歳で農業を始めたとき、「今からでも農業はできる」と感じたのはうれしかったですね。また、お客様と商品の話をしていると、地域ごとの作り方の違いを知れたりして楽しいし、勉強にもなります。



山口由美さん（上野東）
経営内容 果樹（梅）

- ① 若い方や専業者が少なく、農業に稼げないというイメージがあると思います。
- ② 農地維持が大変なことですね、梅・ゆずなどの果樹は剪定等の管理も大変さを感じます。
- ③ 後継者や新規就農者がいない（少ない）ので、自然と耕作放棄地や空き家も増えていくと思います。
- ④ 農業に対して努力できる・稼げる環境を作っていきたいですね。また、業種ごとの町認定のアドバイザー制度とかがあったら面白いと思います。情報共有の仕方や、より良い販売方法も考えていきたいですね。夢はがっちりマンデー（TV番組）で「楽しめる農業『梅でがっちり！』と、紹介されることです。
- ⑤ 探しています。
- ⑥ 業種が異なる方でも仲間が増え、同じ志を持った方たちにたくさん出会えたことです。町内でも多くの皆さんに応援・協力してもらえることが一番嬉しいです。